



# 遠大勵志

## 全米大学体育協会

## トップアスリート

## 司東さん(本校OB)選出

### 【岩手日報5/24記事より】

北上市稲瀬町出身で米国ミズーリ州・ミズーリバレー大3年の司東実優さん(21)は、全米大学体育協会(NAIA)が選ぶ2020年のトップアスリート「オールアメリカン」に選ばれた。チアダンス部門の選出で、日本人では唯一。将来は専攻する心理学を究めて世界で活躍するとともに、夢のダンススタジオ開設を目指す。

NAIAは全米規模の体育協会の中でも4年制大学が加盟する組織(リーグ)の一つで、外国人選手も多く活躍する。チアダンス部門のオールアメリカンは2月下旬に行われたトライアウトで決まり、20年は全米各地から85人が選ばれた。

司東さんはジャズやヒップホップなど振り付けが決められたダンスの完成度が高かったほか、3回転ターン、回りながら片脚を高い位置に蹴り上げる「ティルトジャンプ」、前に進みながら脚を交差させて跳ぶ「スイッチチリーブ」など高難易度の技も成功させたことが評価された。

ダンスとの出会いは双子の妹里菜さんとともにバレエを始めた3歳。北上、盛岡両市の教室を行き来するなどして上達していった。黒沢尻北高を卒業後は、好きな英語を本格的に習得するため17年8月に留学した。

大学では心理学を専攻し、成績は学年トップクラス。1年生で同大のダンスカンパニーに所属し、2年時にダンス部が立ち上がる際はオーディションを通過して創部メンバーの一人になった。バレエを基礎に、チアダンスを究めようとコーチや仲間を支えられながら努力を続けた結果、同大初の称号保持者となった。

米国内では新型コロナウイルス感染症が深刻化する

前に一時帰郷。今夏に予定する再渡米までの間、オンラインで授業を受けながら、毎日のように古里で新たな技の習得に励む。

今後は大学院に進学して産業・組織心理学の資格を取得する予定。心理学者としての世界での活躍と、ダンススタジオを立ち上げ次世代のダンサー育成に貢献することを夢に抱く。

司東さんは、「諦めなければできないことはない。いつかは岩手にもダンススタジオを設けて、地元の子供たちにその魅力を伝えたい」と将来を展望する。



\*\*\*\*\*

本校を最近卒業したばかりの司東さんの活躍が新聞に掲載され、その活躍を私たちが知り、刺激を頂いたことは本当に嬉しいことでした。思いを強く持って主体的に歩みを進めることが如何に大切か、後輩であるみなさんへ大きな勇気を頂いたと思っています。

## 「きたかみ世界塾」

5月22日(金)7時間目の総合探究の時間に、1年生は第1体育館で、2年生は図書館などを利用しながら行いました。そのときの様子です。

### 【1学年】



### 【2学年】

